

夏場の生ごみ対策

～マンション、アパートでもできる循環型生活！～

夏場は「燃やせるごみ」がとて多くなり、燃やせるごみのうち、生ごみが約3割を占めており、生ごみの約8割は水分といわれています。この生ごみを減らすために、各家庭で取り組める方法について紹介します。

(1) 段ボールコンポスト

夏場は、水分を多く含んだ生ごみが多くなりがちです。そんな時こそ、段ボールコンポストが活躍します。

段ボールコンポストは、マンションやアパートのベランダでも簡単にできます。段ボールコンポストの基材「ピートくん」は環境企画課（本館2階）または各支所（川島・山川・美郷）などで無料配付しています。生ごみを入れて出来上がった堆肥は非常に栄養素が豊富です。これを利用してプランターで自家製野菜を栽培すれば、あなたも循環型生活の実践者です。



(2) 水切りダイエット

段ボールコンポストは少し面倒くさい！と思われる方に最適なのが、水切りダイエットです。水切りダイエットで腐敗や悪臭の原因となる水分を減らすことによって生ごみ特有の嫌な臭いが減り、その分だけ生ごみの減量化につながります。



(3) 食品ロスを減らす

生ごみのうち、まだ食べられるのに捨ててしまうもの「食品ロス」が1～2割程度あるといわれています。夏場は食品が傷みやすく、食品ロスが増加する傾向があります。生ごみをできるだけ出さない生活を心掛けましょう。

- ① 食材を「買すぎない」 賞味期限を考えて賢い買い物を心掛けましょう。
- ② 食材を「使い切る」 ちょっとした工夫で調理くずの発生を減らしましょう。
- ③ 料理を「作りすぎない」 作りすぎは、食べ残しにつながります。
- ④ 料理を「食べ残さない」 食への理解を深め、食べ残しを減らしましょう。



●問い合わせ 環境企画課 ☎22-2230 FAX22-2247

9月10日は『下水道の日』です 下水道への接続にご協力ください！

～公共下水道の供用開始区域内に建物を所有されている方へ～

下水道は、衛生的で住みやすい生活環境の実現や川や海の実環境の保全など、私たちが健康で文化的な生活を続けていく上で大きな役割を担っています。下水道が整備された地域にお住まいの方や建物を所有している方で、まだ接続が完了していない方は、早期の接続をお願いします。

下水道への接続工事は個人負担となり経済的負担を伴いますが、本市では「水洗便所等改造奨励金」と「グループ申請制度」を設け、接続工事にかかる費用の助成を行っています。このうち、「グループ申請制度」は、期間限定の助成制度ですので、ぜひこの制度を利用し接続にご協力ください。

【水洗便所等改造奨励金】

処理区域となった日から1年以内に宅内工事完了の場合 50,000円
処理区域となった日から2年以内に宅内工事完了の場合 25,000円

【グループ申請制度】

令和3年度までの期間限定の制度で、近隣でお住まいの方々や友人、知人など複数の人がグループとなって接続する場合に奨励金を交付します。

※各奨励金は併用申請できません。また、交付には一定の条件があります。

グループ全体の工事件数	奨励金額（1件につき）
2～4件	20,000円
5～7件	40,000円
8件以上	60,000円

●問い合わせ 下水道課 ☎22-2258 FAX22-2254

吉野川市総合型地域スポーツクラブ

おえっこスポーツクラブからのお知らせ

～With コロナ・市民げんき UP 事業～



おえっこ sports club

おえっこスポーツクラブでは、コロナ禍での運動不足やストレス解消を目的に、With コロナ・市民げんき UP 事業を実施します。次の期間中なら対象となる方は3回まで、どの教室でも無料で参加できます。おえっこスポーツクラブの会員になっていない方は、この機会にぜひ体験してみてください。

<実施期間> 9月1日(水)～10月31日(日)

<対象者> 吉野川市在住で、60歳以上または中学生以下の方

<参加費> 無料 ※事前におえっこスポーツクラブ事務所に、教室参加の申し込みが必要です。

現在実施中の教室

コンディショニング

- ・体をほぐしてかんたんピラティス
- ・身体の歪み調整 class
- ・ボディワーク・フィットネス
- ・体幹&ストレッチ
- ・ごっそりデトックス
- ・美ユティアー BodyWave
- ・リンパ流し体操
- ・DBT ポップエクササイズ

キッズ・ジュニア

- ・幼児運動教室
- ・キッズヒップホップ
- ・あつまれ～キッズボールパーク

ダンス系フィットネス

- ・チェアエクササイズ
- ・エアロピクス
- ・スローエアロ&ストレッチ
- ・ZUMBA
- ・ステップダンス

太極拳・ヨガ

- ・あなたとわたしの太極拳
- ・日華里健康太極拳
- ・ずつきりヨガ
- ・ゆるむヨガ
- ・フローヨガ
- ・ライフスタイルヨガ

カルチャー系教室

- ・筆ペン・ボールペン字講座
- ・プリザーブドフラワー教室

シニア向け

- ・元氣アップ体操
- ・アタマとカラダのいきいき体操

ニュースポーツ・アダプテッドスポーツ

- ・スポーツ吹き矢
- ・パラスポーツ教室

競技型教室

- ・Let's smash バドミントン教室
- ・Let's ピンポン

※新型コロナウイルス感染症状況により変更になる場合があります。

※参加状況により希望日の変更をお願いする場合があります。

●問い合わせ おえっこスポーツクラブ(吉野川市民プラザ市民センター内)
☎22-2444 FAX22-2445

人権とびっくす

社会の「当たり前」を見直すこと

本年2月に、東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の女性視察発言に対し多くの苦言が寄せられ、会長は辞任することになりました。国際化が進展する中で、人権を尊重することが最も重要な課題となっております。

「4人」が多く、女性を半数以上にと考え「5人」と答える方もいるかと思えます。ギンズバーグは、いつも「9人」と答えました。そしてこう続けます。「これまで9人全員が男性であった時は何の疑問も抱かなかったでしょう」と。世界経済フォーラムが3月に、国別に男女格差を数値化した「ジェンダーギャップ指数2021」を発表しました。日本は調査対象となった世界156カ国中120位という順位でした。私たちの意識改革が求められます。

こうした女性登用の動きは、来月5月に開催される「ワールドマスターズゲーム」の組織委員会の女性理事を現在の約8%から40%前後にする方向であることや、2025年万博を運営する万博協会が男性中心の理事構成を見直し、女性比率を15%から40%以上に引き上げるよう調整していることにも見られ、多様な意見を取り込み、運営や活性化

に生かそうとしています。

本市においても、第3次男女共同参画基本計画では本市の審議会などでの女性委員を40%に、本市の管理的職務従事者の女性割合を20%にという数値目標を立てています。

問い合わせ

人権課 ☎22-2229 FAX22-2260